Thinking of you

Electrolux

システムキッチン用

ドロップインコンロ　設置工事説明書

型　式	型式の呼び
EHG60840X	RD640STS
EHG30820X	RD320STS

◆施工される方へのお願い

- 機器を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 配管工事は、すべて「建築基準法」「各都市の条例、規定」に準じて行なってください。
- 施工が終わったら 6 施工後の点検確認 のチェックリストに基づいて、必ず点検確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

1 安全上のご注意

機器を安全に正しく施工していただくためや、施工作業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

【表示マークの説明】

※表示内容を無視して誤った施工をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



この表示は、「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

【絵表示の説明】

※お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。





この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

⚠警告

■施工は必ず、この「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準及び実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な施工をすると事故や火災の原因となります。



■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された工事を行う

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

金属管や金属可とう管などによる機器へのガス配管接続工事・取りはずし工事は必ず有資格者が行ってください。



⚠注意

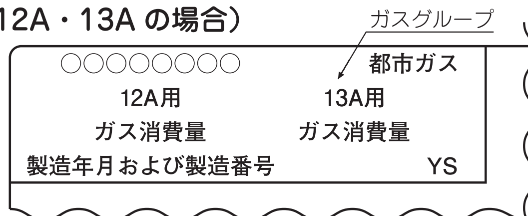
■設置する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）に適合していることを銘板で確認する

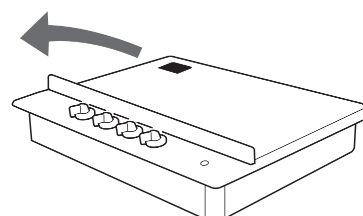


合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。

銘板は機器の本体内部後方またはトッププレートに張ってあります。

〈例〉銘板（12A・13A の場合）

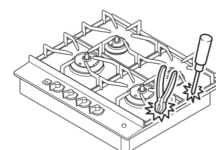




■絶対に改造・分解は行わない



設置工事で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わないでください。一酸化炭素中毒の恐れがあります。また、火災の原因になる恐れがあります。



⚠注意

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

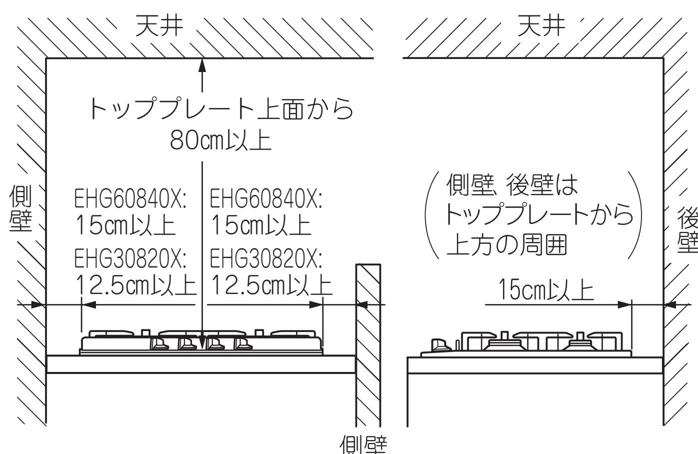


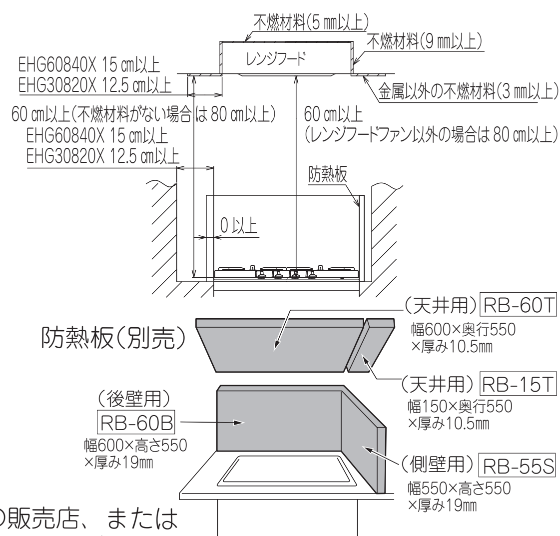
■火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

■周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合はつぎのようにしてください。

・機器と壁との間隔の側壁は〔EHG30820X：12.5㎝以上、EHG60840X：15㎝以上〕後壁は15㎝以上、天井は80㎝以上離して設置します。

■機器と可燃性の壁（ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）との間隔を上記の寸法以上離せない場合は壁面に防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。





● 防熱板については、お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにお問い合わせください。

■設置するときは、下記の項目に注意してください

■**設置場所**を決めるときは、お客様とよく相談する。

■**燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例・電気設備技術基準に定める防火措置を施す。**

■この機器の金属部は、感電・火災などを防止するためにカウンタートップなど家屋の金属部分と電気的に接触しない様に、カウンタートップに絶縁テープなどで絶縁処理をする。（「電気設備技術基準の解釈第１６７条の３項」による）

■**この機器を設置される台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。**

- 水平で安定した場所に設置する
- 指定の防熱板を必ず使用する
- **車両・船舶**には設置しない
- 機器をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがない
- 十分に換気のできるところに設置する
- **水のかかるところ**には設置しない
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かない
- **たなの下**など落下物の危険のある所には設置しない
- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない
- 強い風が吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所には設置しない
  （点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しく働かないことがあります）

■この機器は一般家庭用です

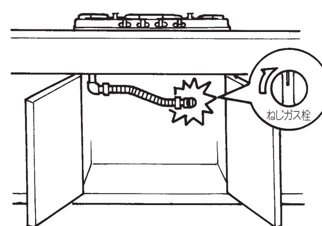
業務用として使用しないでください。機器の寿命が極端に短くなります。



⚠注意

■施工後、長期間使用しないときはガス栓（ねじガス栓）を閉める

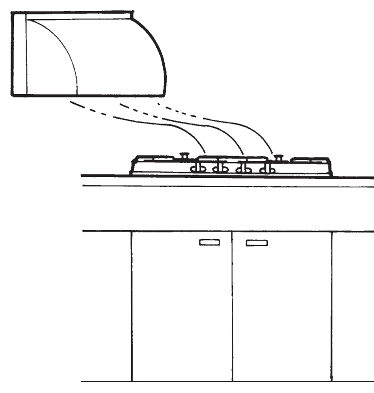
ガス栓（ねじガス栓）は機器下方または、となりのキャビネット内にあります。
ガス事故防止のため必ず行ってください。





■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器にはレンジフードファンが必要です。
設置するガス機器及び同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。
ただし、室内給気式（FE・CE）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため、注意が必要です。





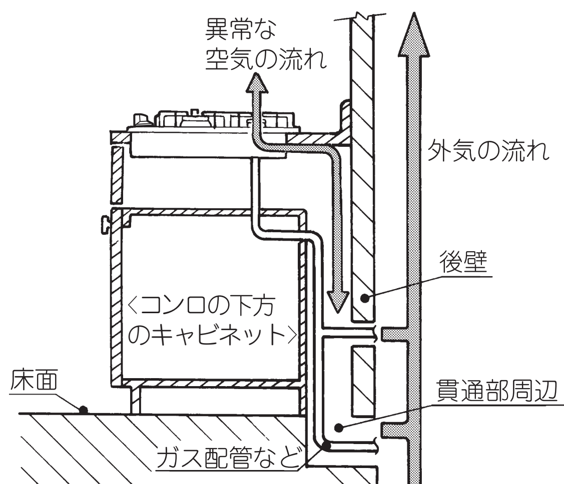
■機器設置の際には必ず手袋をする



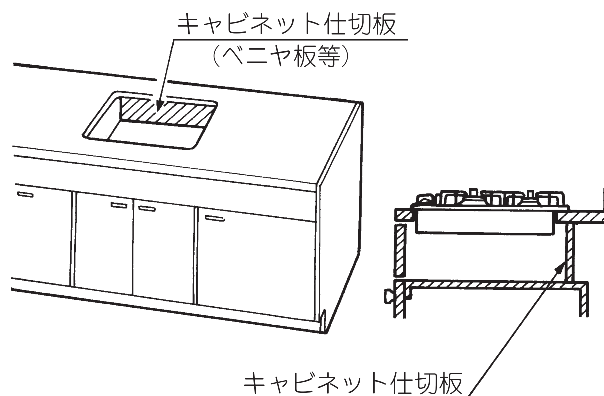
■コンロ内キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする

ガス管などの配管貫通部に隙間があると内気と外気がつながり異常な空気の流れが起こります。そのような場合は配管貫通部の隙間をふさぐか、仕切り板（ベニヤ板など）により機器の後方をふさいでください。
炎のもぐりこみ、機器焼損、消火、不完全燃焼、温度センサーの誤作動などの原因となります。





キャビネット仕切板設置例



- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まない
- 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところに設置する
- ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）又はこれと同等以上の材料を使う
- **表面がニス引きのものは変色する恐れがあるので使用しない**

■本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず電池を取りはずす

そのままにしておきますと、発火などの事故になります。



2 寸法図

1. 外形寸法図

（単位：㎜）

EHG60840X

182
200.5
505（奥行）
275
590（幅）
17.5
57.5
70
127.5（高さ）
227.5
555
455
47.5
87.5
電源用ハーネス引き出し位置
ガス接続口 15A（Rc1/2 メネジ）

ワークトップ穴あけ寸法

ワークトップ奥行寸法 最小（600）
R10〜R30
460^{+4}_{-0}
560^{+4}_{-0}
15以上
40以下（フィラー取付時）
ワークトップ奥行寸法 最小（600）

注 意

- ワークトップの奥行は 600㎜以上必要です。
- ワークトップの穴あけ寸法は上図の通りです。公差内になるよう加工してください。

（注）電源用ハーネス長さ
本体側から約350ｍｍ
乾電池ケースから約150ｍｍ
合計約500ｍｍ

EHG30820X

182
200.5
505（奥行）
315（幅）
17.5
57.5
70
127.5（高さ）
90
280
455
47.5
87.5
電源用ハーネス引き出し位置
ガス接続口 15A（Rc1/2 メネジ）

ワークトップ穴あけ寸法

ワークトップ奥行寸法 最小（600）
R10〜R30
460^{+4}_{-0}
285^{+4}_{-0}
15以上
ワークトップ奥行寸法 最小（600）

注 意

- ワークトップの奥行は 600㎜以上必要です。
- ワークトップの穴あけ寸法は上図の通りです。公差内になるよう加工してください。

（注）電源用ハーネス長さ
本体側から約500ｍｍ
乾電池ケースから約150ｍｍ
合計約650ｍｍ

2. キッチン組み込み寸法図

■標準設置図（単位：㎜）

EHG60840X

ドロップイン部分 555
カット寸法560^{+4}_{-0}
〈正面〉

ワークトップ奥行寸法 最小600
ドロップイン部分 455
カット寸法460^{+4}_{-0}
とびら
キャビネット側板前面
〈側面〉

EHG30820X

ドロップイン部分 280
カット寸法285^{+4}_{-0}
〈正面〉

ワークトップ奥行寸法 最小600
ドロップイン部分 455
カット寸法460^{+4}_{-0}
とびら
キャビネット側板前面
〈側面〉

3 同梱部品の確認

■部品の不足がないことを確認する。

EHG60840X

部品名	器具栓つまみ	バーナーキャップ（強火力、標準）	バーナーキャップ（小）	バーナーボディ（強火力、標準）
形　状	4個	2個	2個	2個
部品名	バーナーボディ（小）	ごとく	乾電池（単1形）	電池ケース
形　状	2個	2個	2個	

部品名	電池ケース固定ねじ	リード線固定用クリップ	設置工事説明書	取扱説明書	バーナーボディ用固定ねじ
形　状	3本 ℓ＝14	3個			2本 ※このねじは予備用に同梱しています。

EHG30820X

部品名	器具栓つまみ	バーナーキャップ（強火力）	バーナーキャップ（小）	バーナーボディ（強火力）	バーナーボディ（小）
形　状	2個				

部品名	ごとく	乾電池（単1形）	電池ケース	電池ケース固定ねじ
形　状		2個		3本 ℓ＝14
部品名	リード線固定用クリップ	設置工事説明書	取扱説明書	バーナーボディ用固定ねじ
形　状	3個			2本 ※このねじは予備用に同梱しています。

4 ガス配管工事・ガス配管接続工事

⚠警告

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です



- 接続の際はガスシール材を必ず使用する
- ガス栓（ねじガス栓）を必ず取り付ける
- 接続完了後、ガス漏れのないことを確認する。ガス事故防止のため必ず行なってください。
- 取りはずした部品は必ず取りつける

ガス配管方法及び電池ケース取り付け例

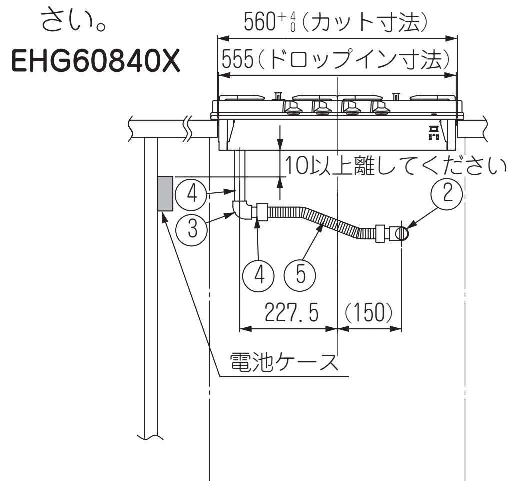
■ドロップインコンロの配管方法及び配管施工例

- 接続の際はガスシール材を必ず使用する
- 配管周囲のすきまをなくすように、配管キャップなどを取り付けてください。すきまが大きいと消火したり、炎がもぐりこんだりして異常過熱の原因になります。

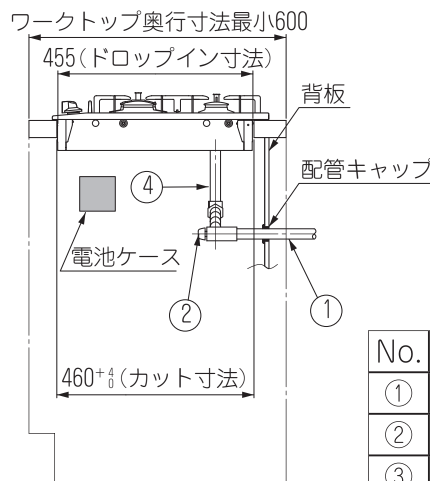
■電池ケースの取り付け

- キャビネット内左側上部に取り付けてください。
- 機器底面より 10mm以上下方に離してください。
- リード線はキャビネット引き出しなどに触れないように同梱のクリップを使用し、固定してください。

EHG60840X



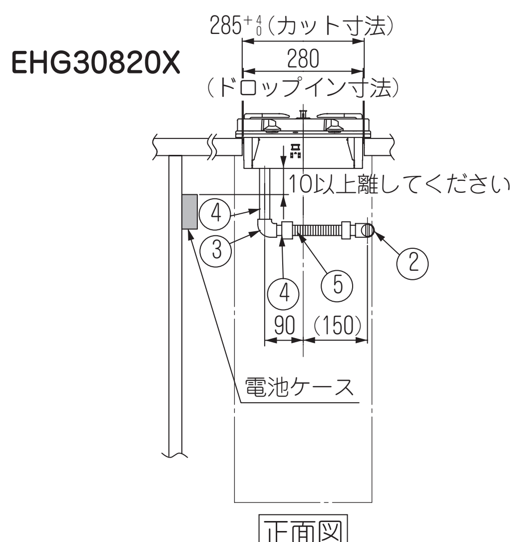
正面図



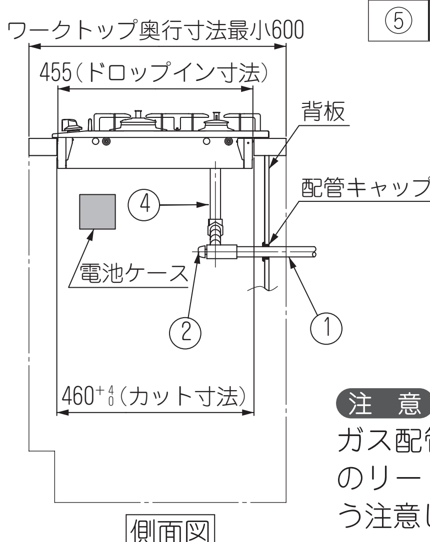
側面図

No.	配管仕様
①	ガス管（R1/2）
②	ガス栓
③	エルボ（Rc1/2）
④	ニップル（R1/2）
⑤	金属可とう管

EHG30820X



正面図



側面図

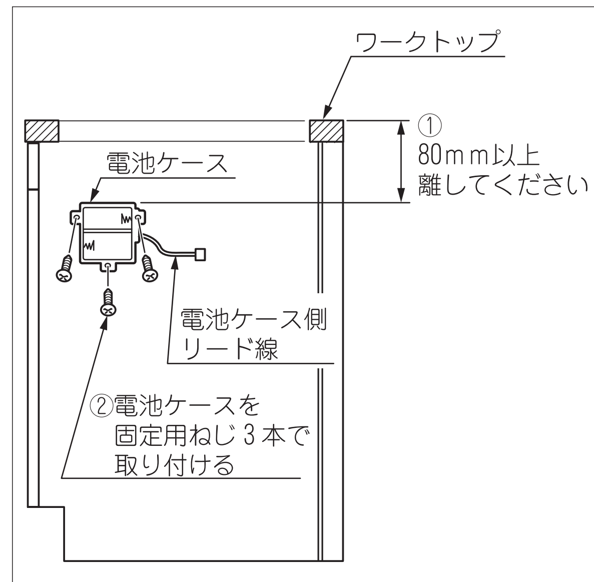
注意

ガス配管接続時、電池ケースのリード線を引っ掛けないよう注意してください。

5 ドロップインコンロの設置

1. 電池ケースの取り付け

● 同梱してある電池ケースをキャビネット内部の左側面に取り付けてください。
①電池ケースの上端がワークトップ上面より80㎜以上の位置に取り付ける。
②電池ケースを付属の電池ケース固定ねじ３本で取り付ける。



注 意

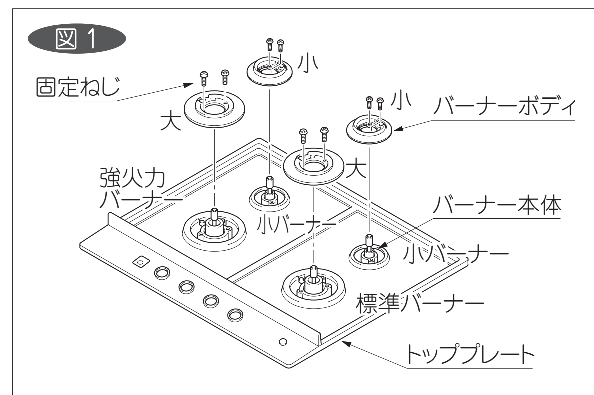
電池ケースの取り付けはキャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行なってください。

2. バーナーボディ・トッププレートの取りはずし

■バーナーボディ・トッププレートの取りはずし

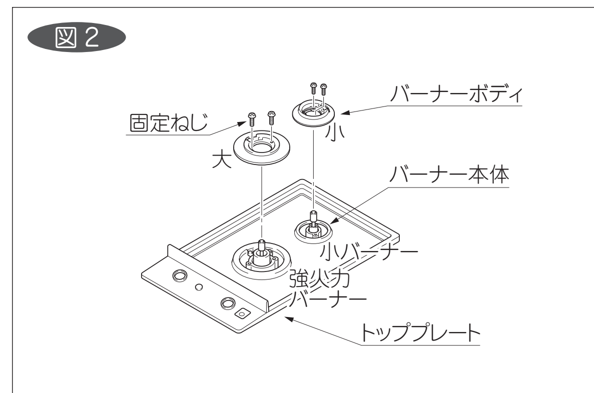
EHG60840X 図１

● バーナーボディ（４個）の固定ねじ（各２本）をはずし、バーナーボディを取りはずす。
● トッププレートを取りはずす。



EHG30820X 図２

● バーナーボディ（２個）の固定ねじ（各２本）をはずし、バーナーボディを取りはずす。
● トッププレートを取りはずす。



注 意

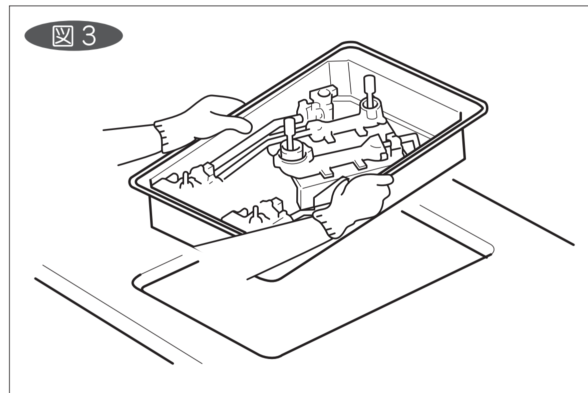
取りはずした固定ねじは、後で使用します。大切に保管してください。

3. ドロップインコンロの設置

■ドロップインコンロのワークトップへの組み込み

- ドロップインコンロの本体側部を持ち、ドロップインコンロをはめ込みます。
- はめ込み時は必ず本体側部を持ってはめ込んでください。バーナー・バーナー支えなどの燃焼部品を持ってはめ込むと燃焼不良の原因になります。図3

※パッキンが本体から、はずれたり、はみ出ていないか又、ワークトップとの間にすきまがあいていないか確認してください。

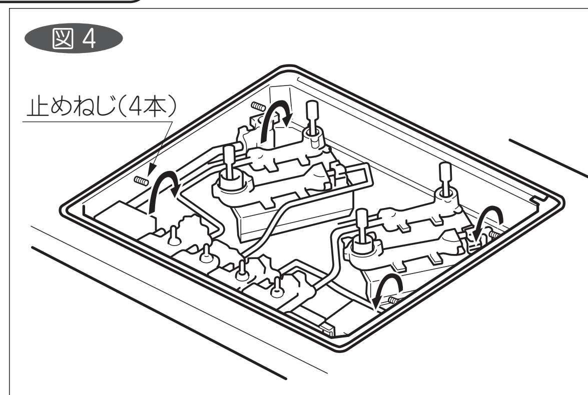


4. 機器の固定

■ドロップインコンロのワークトップへの固定 図4

- 本体側面についている止めねじを回して、機器を動かない程度に固定してください。
- 締めこみすぎると、ワークトップを壊したり、機器が変形したり、パッキンが浮く原因になります。

〈使用工具〉
プラスドライバー、スパナ（呼び８）、モンキーレンチ



- スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチ・モンキーレンチなどで止めねじの六角部をはさんで、ねじを回してください。

※工具を使用する際には、バーナーに傷をつけないようにしてください。

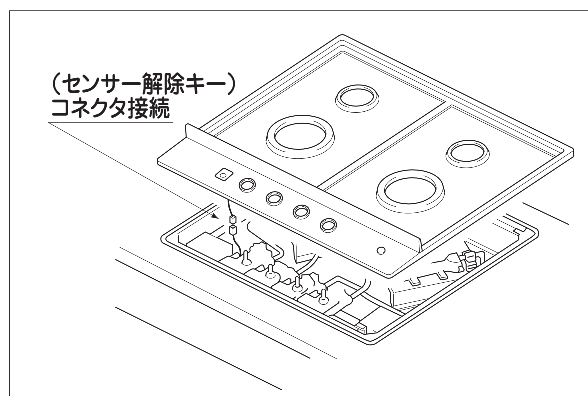
5. トッププレートをセットする

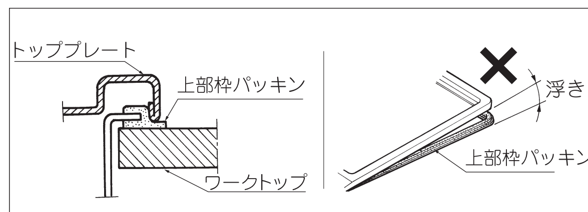
■センサー解除キーの接続

- **トッププレートにあるセンサー解除キーのコネクタを、本体内部のコネクタと確実に接続し、トッププレートを取り付けてください。**

※コネクタをトッププレートではさみ込まないよう、注意してください。
※コネクタ接続を忘れると、お客様がセンサー解除モードを使用できなくなります。

- トッププレートのセットは浮きがないように上部枠パッキンに確実にはめ込んでください。
- セットがかたい場合は上部枠パッキンを本体側に押し込んでなじませてください。

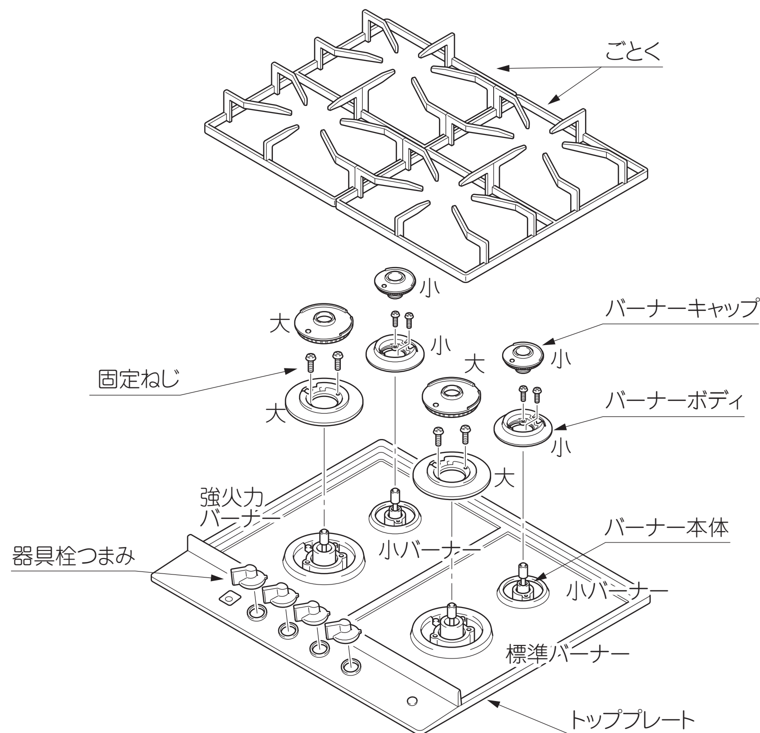




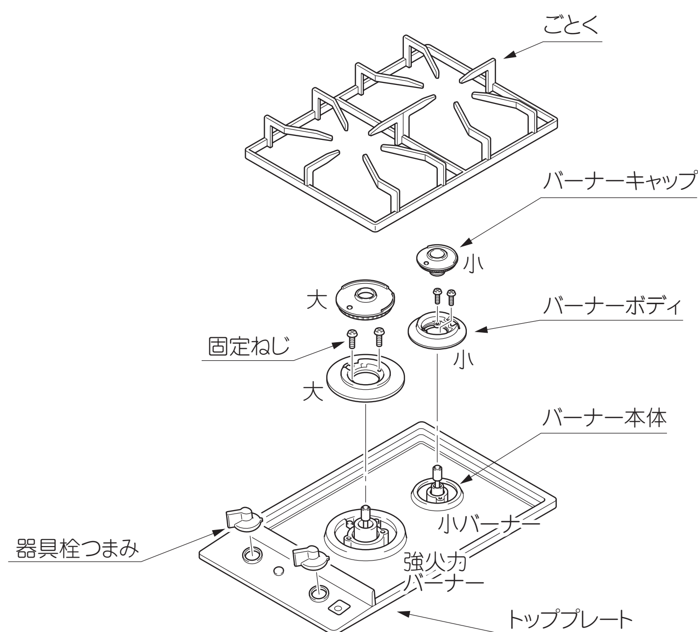
6. 部品の取り付け

● 下図のように正しくセットしてください。

EHG60840X



EHG30820X

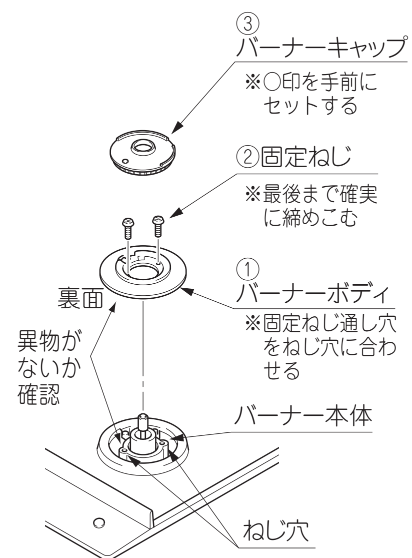


バーナー取り付けの手順

①バーナー本体とバーナーボディ裏面のシール部に異物が付着していないか確認してください。バーナーボディをバーナー本体にのせ、ねじ穴を合わせる。

② 2.バーナーボディ・トッププレートの取りはずし ではずした固定ねじ２本で各バーナーボディを固定する。

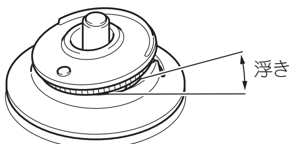
③バーナーキャップをのせる。

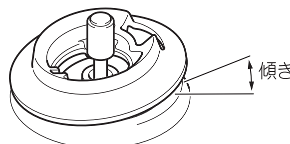


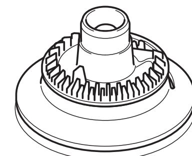
⚠注意

■バーナーボディを傾けて取り付けたり、バーナーキャップの取り付け忘れやななめセットしない。

- 炎がもぐりこんだり、異常燃焼による火災や機器焼損の原因になります。



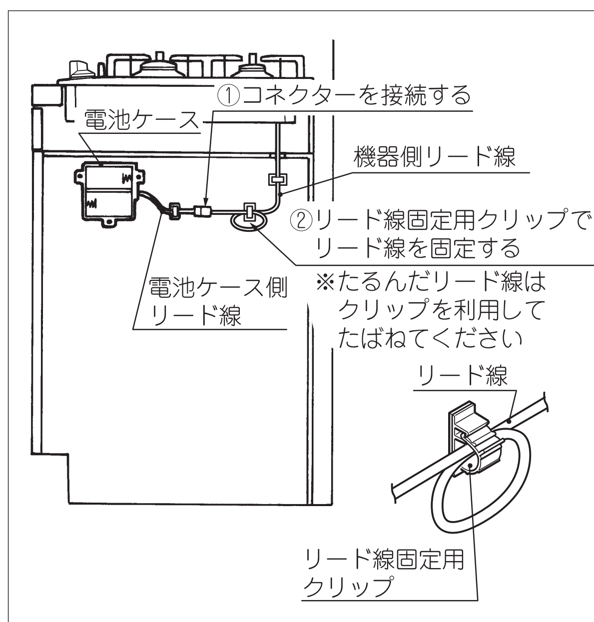




7. 電池ケースリード線の接続

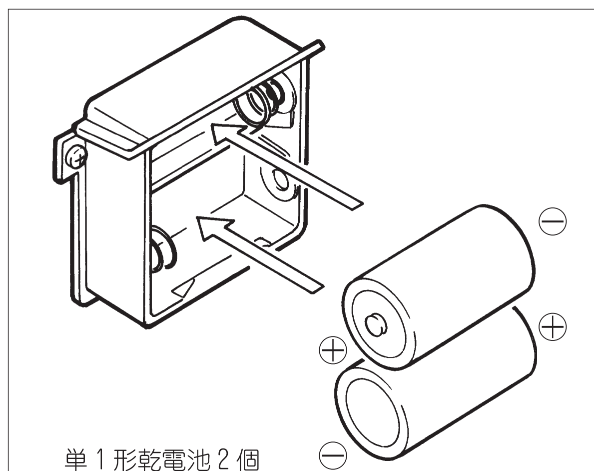
- 同梱してあるリード線固定用クリップでリード線を固定してください。
  ①電池ケースのリード線と機器側のリード線のコネクタを接続する。
  ②付属のリード線固定用クリップでリード線を固定する。リード線のたるみのないようにリード線固定用クリップをキャビネット側面に張り付けてください。

注 意
- あまったリード線はリード線固定用クリップを利用してたばねてください。
- リード線の取り付けはガス配管作業時に支障のないことやキャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行なってください。



8. 電池の取り付け

- 同梱してある単１形乾電池２個を電池ケースに取り付けてください。
  ①単１形乾電池（1.5V）２個を図のように正しくはめ込んでください。



単１形乾電池２個

9. ガス配管接続・ガス配管工事

■ガス管の接続およびガス配管工事

- **4** ガス配管工事 を参照して、ガス配管接続および配管工事を行ってください。
- 必ず、ガス漏れ検査を行ってください。

6 施工後の点検確認

- チェックリストにもとづいて確認してください。

点検項目		点検内容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	ガス種	機器が使用するガス種に適合しているか。(銘板確認)	1	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	1	
	水平設置	水平にセットされているか。	1	
	安定設置	ガタツキはないか。	1	
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	1	
キャビネット		キャビネットに背板があるか。(機器後方に穴があいていないか)	1	
ガス配管接続工事		ガス漏れはないか。	4	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けしたか。		
バーナーボディの取り付け		バーナーボディはねじ固定されているか。	5	
電池ケースの取り付け		キャビネット内に取り付けられ、コネクタは接続されているか。	5	
センサー解除キー		コネクタを接続したか。	5	
その他		梱包用部材が機器に残っていないか。		

7 試点火および試運転

■試点火および試運転

正しく設置工事されていることを確認してからガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。特に強火力バーナーを試点火した際には、センサー解除キーを 3 秒間押下げ、センサー解除モード表示ランプが点灯することを確認してください。

■試運転終了後の処置

試運転終了後長期間使用しない場合は、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、電池を取りはずしてください。

■お客様への説明

取扱説明書によって機器の取扱いを説明してください。
保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。また取扱説明書の保管をお願いしてください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
ホームプロダクツ事業部

東　京　〒108-0022 東京都港区海岸3-2-12 安田芝浦第2ビル
TEL(03)5445-3363　FAX(03)5445-3362
サービスご相談窓口(フリーダイヤル)0120-5445-07
http://www.aeg-electrolux.jp



640STS-53A(00)